

開催概要（1）

日時	令和7年12月20日(土) 13:00~16:30
場所	今治市みなと交流センター「はーばりー」1階みなとホール
参加者	<ul style="list-style-type: none"> WS参加者 40名（高校生13名、教員1名、大学生6名、大学院生1名、プレイヤー9名、不動産業者3名、事業者2名、会社員3名、医療・福祉関係者1名、無職1名） 観覧者 約50名 計 約90名
目的	<ul style="list-style-type: none"> 「今治市中心市街地グランドデザイン」の計画内容や取組を発信し、まちづくりの機運を醸成 まちなかの地域資源や未来についてのシナリオなどを題材に、参加者自身が相互に意見交換
プログラム	<ol style="list-style-type: none"> 趣旨説明 あいさつ プログラムの説明 各団体によるまちづくりに関する発表 今治市中心市街地グランドデザインの説明 まちづくりワークショップ（グループワーク） 各グループでの成果発表、ディスカッション

中心市街地まちづくり市民会議 2025

「まちなか」未来とじぶん

12.20

(土)

13:00-16:30

今治市みなと交流センター「はーばりー」1階 みなとホール

- ① 各団体によるまちづくりに関する発表
- ② 今治市中心市街地グランドデザインの説明
- ③ まちづくりワークショップ（希望者のみ）
- ④ 成果発表ディスカッション



「まちなか」未来とじぶん

グランドデザインで描いた「中心市街地(まちなか)の未来をもっと面白く、もっと魅力的にするために。まちづくりに関わる、関わりたいみなさんと一緒に、「まちなか」・未来・そしてじぶんのこれらを語り合います。

※当日のグランドデザインの説明、取組の発表、議論の様子を観覧できます。ぜひお誘いあわせの上、ご参加ください。

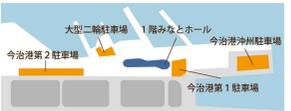
参加方法

申込期間 | 11月17日(月)8:30～12月19日(金)17:15まで
 事前申込制 | 定員：80名(先着)

※ワークショップについては人数に限りがあり、ご希望に添えない場合があります。

会場案内

今治市みなと交流センター「はーばりー」1階 みなとホール
 住所：今治市片原町1丁目1-27



お問合せ

今治市 総合政策部 企画政策局 魅力都市創生課
 TEL: 0898-36-1508



申込フォーム

開催概要 (2)



■各団体によるまちづくりに関する発表



■グランドデザインの説明



■まちづくりワークショップ、グループワーク



■各グループでの成果発表、ディスカッション



各団体によるまちづくりに関する発表や「今治市中心市街地グランドデザイン」も踏まえ
まちなか・未来・じぶんのこれからを語り合うグループワーク・ディスカッションを実施

主な意見（1）

■まちなかの活用に向けたアイデア（1）

項目	意見要旨
歩行者・ 自転車 が 回遊し やすいまち	<ul style="list-style-type: none">・ ランニング、ウォーキング、サイクリングのコースなど運動・健康につながる環境整備を進めてほしい・ 港と広小路がつながれば、朝・夜の散歩などで集まったり、コミュニケーションの機会が増える・ 高校生や学生は徒歩や自転車で行動するので、歩き回れるまちにしたい・ サイクリングコースの青線をもっと引いてもいいのではないか・ 歩いたり自転車で走っていれば、まちの景色に動きが出て活性化している印象につながる・ 車よりも自転車や歩きの方が、まちを感じてもらえる・ 歩いてもらうために駐車場をつくらないというマルシェの考え方には共感・ 駐車場やサイクルターミナルから、自転車でまちを巡ってもらえたら素敵・ 道がぼこぼこしていたり狭いので、もっと歩きや自転車で移動しやすいまちにしたい
回遊したく なる魅力ある まち	<ul style="list-style-type: none">・ マルシェで駐車場から港まで歩く間に、商店街で物を買ったり食べ歩きしたり活動が生まれてほしい・ 商店街に足を運べる場所が増えてほしい・ 目的地となるエリア同士が離れているので、道中に魅力を感じる店をつくり、人の流れをつくっていききたい・ 飲み屋やカフェがあるとよい・ まちの色々なところで小さい絵を展示し、それを巡るようなイベント「歩く美術館・博物館」をやってみたい

主な意見（2）

■まちなかの活用に向けたアイデア（2）

項目	意見要旨
酒場・横丁 (語り合える、 チャレンジで きる場所)	<ul style="list-style-type: none">• 酒場、横丁をつくることで、色々な人が情報をシェアする文化をつくっていききたい• 科学や音楽、イノベーションなど実験できる、チャレンジできる場をつくり、面白い人たちが集まる街にしたい• 色々なジャンルを語り合えるような、皆が集まる場所をつくりたい• まちなかに出店したくなる場所を整備して、チャレンジできる環境を整えていけるとよい
海や港の活用	<ul style="list-style-type: none">• 港での結婚式や船上での音楽イベントなど、今治の海の魅力を県外の人に気づいてもらえるように活性化したい• 若者が今治の船舶産業や重工業に興味を持ってもらうきっかけづくりをしたい• 飛行機や駅だけでなく、船で来る人を受け入れられる港にしたい• 海沿いが走って回れる場所になるとよい• 新鮮な魚を食べられるお店、仕事ができるスペースがあるとよい• 釣りやサーフィンなどのマリンスポーツを通じて、海で面白い体験をつくりたい• サーフィンのポートには今治の造船技術を活かすことができるのではないかと• 鴨池海岸ではマリンスポーツが盛んなので、中心市街地とつながっていくと面白い
デート スポット	<ul style="list-style-type: none">• デートスポットがない• 港は景色もいいし、人が集まる場所にできるのではないかと• 昔は高校生も港にデートに来ていた• 大きいスクリーンでのナイトシアターなど、海辺は遊べる場所に変えていけるのではないかと

主な意見（3）

■まちなかの活用に向けたアイデア（3）

項目	意見要旨
高校生が住み続けられる環境の整備	<ul style="list-style-type: none">• 高校生が大学で外に出て行かざるを得ないのが勿体ないので、今治のまちなかに大学をつくりたい• 就職などで上京しても帰ってきたいと思えるまちにしたい• 3年では足りないので今治に残りたいと高校生から声が上がっている• 高校卒業後に地域おこし協力隊として商店街で企業の準備ができるなど、長く残ってもらう制度を整えたい• 高校生が4~5年かけてチャレンジできる環境をつくる• 自分の居場所や周りの人と交流できる場として、商店街に居場所があるとよい
まちの玄関口となる駅周辺の整備	<ul style="list-style-type: none">• 駅の案内が少ないので、地元・観光客向けに充実させてほしい• 今治の玄関口である駅からは一ぱりーまで歩いて行ってもらえるようにしたい• 現状は駅とは一ぱりーの間の動線ができていないと感じる• 駐輪場が少ない• 駅周辺には塾が多いので、隙間時間を使って徒歩で店に寄れたり、遊べる・息抜きできる場所があるとよい
家以外の居場所	<ul style="list-style-type: none">• まちなかが目的がなければ行かない場所になっているのが問題• 買い物だけでなく、人に会いに来る、人と出会えるまちにしたい• 訪れた人たちがつながる場所をつくるためのハード・ソフトの仕組みを整えたい• 家以外の居場所としてまちがあると、ひとりあたりの持っている場所が増え、新たなつながりが生まれる

主な意見（４）

■まちなかの活用に向けたアイデア（４）

項目	意見要旨
夜間も明るいまち	<ul style="list-style-type: none">• 夜を明るく、ライトアップや街灯を増やしてほしい• 海の近くで風を感じたり、街灯がキラキラと輝いていたり、魅力的な場所になるとよい
屋内の遊び場	<ul style="list-style-type: none">• 屋内に遊べる場所があるとよい• 公園などの屋外で遊べる場所はあるが、今治には屋内で遊べる場所がない
商店街の活用	<ul style="list-style-type: none">• 商店街は学生にとっても拠点になり得る場所• アルバイトできる店、宿泊できるホテルや学生寮など、学生が生活できるようなまちづくりをしたい• 商店街の空き家もシャッターが閉まったままだと何も起きないので、シャッターを開けてもらったり、取っ払ってオープンにしたり動きが出てくるようにしたい
交通手段の充実	<ul style="list-style-type: none">• 中心市街地を訪れるための交通を充実させてほしい
まちなかの寺の活用	<ul style="list-style-type: none">• まちなかに寺が沢山あるので、活用したい• 寺まで足を運んで紹介する「寺巡りツアー」などがあっても面白い

主な意見（5）

■WS・ディスカッションを通じた参加者の思い

項目	意見要旨
感想	<ul style="list-style-type: none">• 皆さんの熱い思いを聞いてすごく感動した• 大人として、一緒に協力できることがあればしていきたい• 高校生や学生とは普段触れ合うことがなかったが、パワーがものすごいと感じた。• まちづくりは簡単なことではないが、みんなで思いを持ってつくる分、きっとよい思い出につながっていく• 全体を通して頷ける意見が多く、これだけの人たちが中心市街地のことを考えてくれているのが嬉しい• この場に参加していない人たちにも、伝えていくことが大事• 大人だけでなく、波及力の高い高校生とも一緒に発信していきたい• 外から今治に来た立場としてみたときに、色々な人の温もりや優しさ、つながりが感じられる点が今治の好きなところなので、その魅力を活かした取組をしてみたい• 自分にできることはまだ少ないかもしれないが、まちの活性化につながる取組をしてみたい